令和元年５月１０日（金）

「授業力」自己診断シート

|  |  |
| --- | --- |
| 分類 | 具体項目例 |
| **学習環境を整える力及び****学びに向かう学習集団を形成する力** |  □ 児童生徒に、笑顔で快活に挨拶をしたり話しかけたりしている。５３合　　計 □ 児童生徒の意見や提案に耳を傾けている。 □ 児童生徒に学習活動に適した身なりを徹底させている。 □ 児童生徒の着席状況を確認してから授業を始めている。 □ 開始時刻と終了時刻を守って授業を行っている。 □ 学習の準備を整えさせてから授業を始めている。 □ 発言の仕方や話の聞き方などを、適宜教えている。 □ 全員の聞く姿勢を整え、集中させてから、明瞭・簡潔で具体的な指示を出している。 □ 教師自らも、教室での言葉遣いに配慮している。 □ 児童生徒一人一人が存在感と安心感を実感でき、互いに認め合う人間関係を構築させている。 □ 校内環境美化に努め、学びに適した環境を整えている。 □ 計画的・意図的に掲示物を配置している。 □ ユニバーサルデザインに配慮し、全員が授業に参加できる安心安全な環境を整備している。 □ 学習集団における児童生徒の人間関係を把握している。１８ □ 児童生徒と積極的かつ適切にコミュニケーションをとり、良い点を褒めている。 □ 学習指導及び生徒指導上の配慮等を要する児童生徒を理解し、個に応じたきめ細かな指導をしている。 □ 児童生徒の提出物や作品などに適切な評価のコメントを書き入れている。 □ 全国学力・学習状況調査、埼玉県学力・学習状況調査の結果等も踏まえ、クラスやひとりひとりの学習状況を把握して　　いる。 |
| **「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け****授業を構想する力** |  □ 研修等で得た教科等に関する専門的な知識を生かし、教材研究をしている。 □ 学年会や教科部会などで教科指導に関する情報交換等を行い、授業に生かしている。 □ 地域の人的・物的教育資源を積極的に授業で活用している。 □ 単元全体を見通し、本時のねらいを設定している。 □ 単元のねらいを達成するため、適切に教材研究を行い、指導内容を構成し、時間配分している。 □ 学習のねらいの達成につながる発問を計画している。 □ 単元全体の見通しや本時の学習のねらいを、児童生徒が理解できるように工夫している。 □ 主体的・対話的で深い学びの実現に向け、効果的な学習形態を計画している。 　（個別、ペア学習、グループ学習、協調学習、繰り返し学習、学習内容の習熟の程度に応じた学習、補充的な学習、発　　展的な学習等） □ 知識及び技能の確実な習得のため、児童生徒の主体性を引き出すなどの工夫をしている。 □ それぞれの教科の特性を生かし、それぞれの教科の見方・考え方を働かせる学習内容を工夫している。 □ 学びを深めるため、児童生徒が考える場面と教師が教える場面を適切に組み立てている。 □ 児童生徒自身が問題の発見や解決をするような思考力・判断力・表現力の育成につながる、隣の児童生徒と話合いをす　　るような活動を取りいれている。 □ 思いや考えを基に、意味や価値を創り出す活動を設定している。 □ 児童の興味関心や主体性の育成のため、児童生徒が学習課題や学習活動を選択する機会を設けている。１７ □ 情報を活用する力の育成につながる調べ学習などの活動を授業に取り入れている。 □ 育成を目指す資質・能力を明確にしながら、授業に教科横断的な視点を取り入れている。 □ 学校図書館を、読書センター・学習センター・情報センターとして利活用している。 |
| **授業を実践する力** |  □ 声の大きさや話す速さを適切にし、分かりやすい説明をしている。 □ 児童生徒の反応や変容に気付き、質問や意見を取り上げ、授業展開の中に生かしている。 □ 児童生徒の活動場面を確保し、主体的に学習に取り組むことで達成感を得られるよう配慮している。 □ 自力解決の場面やつぶやきなどから、つまずきを早期に発見し、児童生徒一人一人に適切な指導を行っている。 □ 児童生徒に必要感のある話合いの場面を設定している。 □ 課題や問いについて考えさせる時間やノートにまとめさせる時間を確保している。 □ ＩＣＴ機器を学習で効果的に活用している。１３ □ 児童生徒の多様な考えを引き出したり、思考を深める発問をしている。 □ 発問に対して児童生徒が思考する時間を適切に確保している。 □ 板書の内容は、学習の流れや思考の流れが分かりやすくまとめられている。 □ 漢字の筆順や文字の大きさに気を付けて、丁寧な文字で板書している。（ユニバーサルデザインの視点を含む） □ 本時のねらいと正対するまとめをしている。 □ 児童生徒が本時に学んだ内容を理解し、次の課題につながるような学習の振り返りをさせている。 |
| **学習評価の充実** |  □ 児童生徒の学習内容について、評価の観点に照らして評価を行っている。 □ 児童生徒のよい点や可能性、進歩の状況について個人内評価を行っている。５ □ 学習意欲の向上のため、授業内で児童生徒が相互評価や自己評価を行うように工夫している。 □ 学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、事前に教師同士で検討するなどして明確化している。 □ 学習評価等を活用し、指導計画が適切であったかを適宜振り返り、授業を改善している。 |

　**※　各学校でチェック項目を選択するなど、各学校の状況に合うように変更してご使用ください。チェックボックスの数字も変更してご使用ください。**